

日本現代中国学会関東部会定例研究会のご案内

会員各位：

今回の日本現代中国学会関東部会定例研究会は、中国の新たな社会セーフティネットの模索をテーマとしました。少子高齢化が進展するもとの、どのような対策が取られているのか、最新の動向をもとに、医療保険・貧困対策・高齢者介護の三つのトピックから読み解きます。次ページ以降の要領にて行います。皆さま、どうぞ奮ってご参加ください。

記

定例研究会

日時：2019年07月20日(土) 午後3時～5時半

場所：立教大学 池袋キャンパスの4号館別棟・4151教室

※地図：<http://vc.rikkyo.ac.jp/facilities/ikebukuro/av-kizai/4151.html>

関東部会事務局：

中村元哉（東京大学）、倉田徹（立教大学）、阿古智子（東京大学）、
家永真幸（東京女子大学）、福田円（法政大学）
〈幹事〉伊藤亜聖（東京大学）、小野泰教（学習院大学）、
澤田ゆかり（東京外国語大学）、佐藤仁史（一橋大学）

日本現代中国学会関東部会定例研究会
道標なき時代の「セーフティネット」のかたち

中国経済が高度成長から減速するなか、社会保障改革もこれまでの「生産重視の再分配」への見直しを迫られています。またスマホの普及とIoTの進展は、これまでの政府の制度設計を超えた新しい相互扶助の可能性に扉を開きました。既存の福祉レジーム論は有効なのか、本研究会では、中国の社会保障の専門家を招き、社会の変化の実態を踏まえながら、ゴールが見えにくい不確実な時代の「セーフティネット」の形を探ります。

プログラム

日時：2019年7月20日(土) 15:00~17:30

場所：立教大学 池袋キャンパスの4号館別棟・4151教室

司会 澤田 ゆかり（東京外国語大学）

15:00~15:10 開会の辞、趣旨説明

15:10~15:30 片山 ゆき（ニッセイ基礎研究所）

「医療保険をめぐる官民の攻防：プラットフォームによる新たな医療保障の提供」

15:30~15:50 朱 珉（千葉商科大学）

「中国における新たな貧困対策の模索：民間保険による扶貧を中心に」

15:50~16:10 張継元（中国・華東師範大学）

「地域と家族の構造変動がもたらす高齢者福祉の新局面：全国統一にむかう年金改革と介護制度の試み」

16:10~16:30 休憩

16:30~16:50 コメント 包敏（東京医科歯科大学）

16:50~17:20 質疑応答

17:20~17:30 閉会の辞

主催 日本現代中国学会関東支部・日中社会保障研究会